

大藪多可志教授 略歴・主要著作目録

1949年1月11日 富山県宇奈月町浦山3695番地に生まれる

1. 学歴

- 1967年3月 富山県立桜井高等学校卒業
- 1967年4月 工学院大学電子工学科入学
- 1971年3月 同校同科卒業
- 1971年4月 工学院大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程入学
- 1973年3月 同校同課程修了
- 1973年4月 早稲田大学第二文学部英文学科三年編入
- 1975年3月 同校同学科卒業
- 1984年3月 工学博士（工学院大学）

2. 職歴

- 1973年11月 電気音響株式会社入社、技術研究所・第一研究室勤務
- 1980年4月 同社退社
- 1980年4月 金沢女子短期大学（現：金沢学院短期大学）情報処理学科専任講師
- 1984年4月 金沢女子短期大学助教授
- 1988年4月 金沢女子短期大学教授
- 1991年3月 金沢女子短期大学退職
- 1991年4月 富山国際大学助教授（人文学部・社会学科、文科省新設審査：情報科学、産業技術論）
- 1994年4月 富山国際大学教授
- 1998年4月 金沢経済大学（現：金沢星稜大学）経済学部教授
- 2002年4月 金沢星稜大学・大学院教授（大学院設立、文科省新設審査：情報科学）現在に至る
- 2014年3月 同校定年退職

3. 所属学会及び学会活動

観光情報学会（副会長）、日本設備管理学会（副編集長）、計測自動制御学会（元支部長）、日本ファジィ学会（元支部長）、電気学会（元調査専門委員会委員長）、化学センサ研究会（委員）、環境システム計測制御学会

4. 研究業績

著書50冊（含 単著、編著、分担執筆）、論文120編、国際会議175編

【主な著書】

『基礎』

1. 大藪、下村：“社会科学のためのプログラミング C & Java”，海文堂（平成15年4月）
2. 沢田史子、杉森公一、大藪多可志：“基礎から学ぶ統計解析 Excel 2010 対応”，共立出版（平成23年9月）ISBN978-4-320-01974-4
3. 石野福弥監訳、玄光男、大藪多可志、佐々木正仁 共訳：“時間に遅れないプロジェクトマネージメント”，共立出版（2005.9）原著：Robert C. Newbold : "Project Management in the Fast Lane Applying the Theory of Constraints", St.Luice Press (New York, 1998, ISBN 1-57444-195-7)

『観光』

1. 大藪、大内編：“北東アジア観光の潮流”，海文堂出版（ISBN978-4-303-56300-4）（平成20年4月）
2. T.Oyabu, A.Sawada, Z.Zhu and A.Ohuchi : "Current condition of tourism exchange between Taiwan and Hokuriku district and its promotive measure", Sustainable Tourism III (Editor : F.D.Pineda and C.A.Brebbia), pp.73-83, WIT

- PRESS, Southampton and Boston, ISBN : 978-1-84564-124-5 (2008)
3. T.Oyabu : "A regional cuisine database to support the revitalization of a local area in Japan", Sustainable Tourism IV (Editor : C.A.Brebbia and F.D.Pineda), pp.455-465, WIT PRESS, Southampton and Boston, ISBN : 978-1-84564-458-1 (2010)
 4. 大藪多可志, 中島恵編著：“観光と地域活性化”, 三恵社, ISBN : 978-4-88361-917-7 C3034 (平成23年12月)
 5. T.Oyabu : "Revitalization measure in Suzu city based on questionnaire", Sustainable Tourism V (Editor : F.D.Pineda and C.A.Brebbia), pp.287-296, WIT PRESS, Southampton and Boston, ISBN : 978-1-84564-594-6 (2012)

『センシング』

1. 大藪（企画：分担執筆）：“センサエージェント”, 海文堂（平成15年9月）
2. 大藪（分担執筆）：“人間計測ハンドブック”（編集：産業技術総合研究所・人間福祉医工学研究部門），朝倉書店（平成15年9月）
3. T.Oyabu, H.Kuroda, A.Sawada, T.Takenaka, B.C.Wolverton : "Comparison of air-purification characteristics for potted Golden Hahnii and Warneckii", Environmental Health Risk II (Editors : C.A. Brebbia and D.Fayzieva), pp.59-68, WIT PRESS, Southampton and Boston, ISBN : 1-85312-983-6 (2003)
4. T.Oyabu, T.Onodera, A.Sawada and M.Tani : "Purification characteristics of golden pothos for emitting air-pollutants from plywood using a gas sensor", Environmental Health Risk III (Editors : C.A. Brebbia V.Popov and D.Fayzieva), pp.231-239, WIT PRESS, Southampton and Boston, ISBN : 1-84564-026-8 (2005)
5. 勝部・大藪（企画編集：分担執筆）：“安全・安心のためのセンサ技術”, 海文堂（平成18年6月）
6. Ayako Sawada, Takashi Oyabu, Syuichi Seto and Teruaki Katsume : "Survey System for life style of the elderly and to identify the consumption of food and drink", Environmental Health Risk IV (Editor : C.A. Brebbia), pp.61-70, WIT PRESS, Southampton and Boston, ISBN : 978-1-84564-083-5 (2007)
7. 大藪（分担執筆）：“バイオセンサ・ケミカルセンサ辞典”（監修：軽部征夫），テクノシステム，担当（センサシステム）pp.139-44, ISBN978-4-924728-54-7 C3050 (¥52,500-, 平成19年8月)
8. 分担執筆：“先進化学センサ”，「ガスセンサを用いた植物機能の評価法」，(株)ティー・アイ・シー（ISBN978-4-924890-70-1, pp.144-149) (平成20年6月)
9. 大藪多可志, 勝部昭明編著：“植物生体電位とコミュニケーション”, ISBN978-4-303-71032-3, 海文堂出版（平成21年4月）
10. ヒューマンサイエンスとセンシング調査研究委員会編（企画編集：分担執筆）：“心とからだのセンシング”, 海文堂（平成21年7月）ISBN978-4-303-71033-0
11. Takashi Oyabu, Tsubasa Higashino and Hidehito Nanto : "Risk analysis of Volatile Organic Compounds using their indoor diffusion characteristics", Environmental Health Risk V (Editor : C.A. Brebbia), pp.3-12, WIT PRESS, Southampton and Boston, ISBN : 978-1-84564-201-3 (2009)
12. 大藪多可志編（企画編集：分担執筆）：“観光と地域再生”, 海文堂（平成22年4月）ISBN978-4-303-56310-3
13. 大藪多可志, 村井万寿夫, 山崎泉, 橋本恵子, 中島恵, 中村淳子：“基礎から学ぶパソコン”, 共立出版（平成22年4月）ISBN978-4-320-12247-5
14. T.Oyabu : "Breath odor characteristics after drinking alcoholic beverages and health monitoring", Environmental Health Risk and Biomedicine (Editor : C.A.Brebbia, M.Eglite, I.Knets, R.Miftahof & V.Popov), pp.161-170, WIT PRESS, Southampton and Boston, ISBN : 978-1-84564-524-3 (2011.7)
15. (社)電気学会進化技術応用調査専門委員会編（分担執筆）：“進化技術ハンドブック, 第28章インテリジェントセンサとICタグ (pp.602-607)”, (株)近代科学社, ISBN978-4-7649-0426-2 (2012年6月30日)
16. 大藪（委員長）含め15人で執筆：“食の安全・安心とセンシング”, 共立出版 (195頁) (2012年10月10日) ISBN978-4-320-06174-3

【主な論文】

1. 柴田慎一, 東野翼, 沢田史子, 大藪多可志, 竹井義法, 南戸秀仁, 都甲潔：“室内に設置された酸化スズ系ガスセンサによる初期火災検知”, 電気学会論文誌E.Vol.130, No.2, pp.38-43 (2010年2月)

2. Shin-ichi Shibata, Tsubasa Higashino, Takashi Oyabu, Ayako Sawada, Hidehito Nanto, Kiyoshi Toko : "Diffusion Characteristics of VOCs in Indoor", IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineers, No.5, pp.355-360 (2010. 5)
3. Shin-ichi Shibata, BaoSheng Kang, Takashi Oyabu, Haruhiko Kimura : "Air Purification Capability of Charcoal and its Evaluation", IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineers, Vol.5, pp.603-607, 2010
4. 楊昕, 大藪多可志：“中国江蘇省における観光者動向”, 観光と情報, 第6卷, 第1号, pp.29-36 (2010.5).
5. Shin-ichi Shibata, Takashi Oyabu and Haruhiko Kimura : "Bioelectric Potential of Pothos under Light-Emitting Diode", Sensors and Materials, Vol.22, No.5, pp.223-233 (2010)
6. Shin-ichi Shibata, Takashi Oyabu, Shigeki Hirobayashi and Haruhiko Kimura : "Individual Differences in Pothos Bioelectric Potential in a Living Space", Sensors and Materials, Vol.22, No.5, pp.257-268 (2010)
7. Ayako Sawada and Takashi Oyabu : "Healing Effects of Foliage Plants Using Physiological and Psychological Characteristics", Sensors and Materials, Vol.22, No.7, pp.387-396 (2010. 10)
8. 柴田慎一, 邵麗新, 木村春彦, 大藪多可志：“LED光下における植物生体電位と空気浄化特性”, 環境システム計測制御学会(EICA), 第15卷, 第4号, pp.65-71 (2011)
9. Takashi Oyabu : "Sensing technology on Human Science", SENSOR LETTERS, Vol.9, No.1 (2011)
10. 大藪多可志：“石川県観光動向と外客数特性”(特集:観光と知能情報), 人工知能学会誌, Vol.26, No.3, pp.280-285 (2011年5月)
11. Kayoko Murakami, Takashi Oyabu, Yuko Shimomura : "Hot-Spring-Experience Apparatus Based on Questionnaire", Sensors and Materials, Vol.23, No.3, pp.167-177 (2011. 6)
12. Kayoko Murakami, Seren Ozmehmet Tasan, Mitsuo Gen, Takashi Oyabu : "A Case Study of Human Resource Allocation for Effective Hotel Management", Industrial Engineering & Management Systems, Vol.10, No.1, pp.55-65 (2011. 1)
13. 德田真行, 邵麗新, 大藪多可志, 南戸秀仁：“光周波数に対する葉の堅いキャベツの生体電位変化”, 電気学会論文誌E, Vol.132, No.6, pp.143-143 (2012年6月)
14. 柴田慎一, 佐藤文赳, 木村春彦, 大藪多可志：“除草剤散布時におけるクロロフィル蛍光パラメータ(Fv/Fm)と植物生体電位の周波数成分との関連性”, 電気学会論文誌E, Vol.132, No.6, pp.154-158 (2012. 6)

【主な解説記事】

1. 楊昕, 田畠龍一郎, 新保達也, 吉田健吾, 沢田史子, 大藪多可志：“中山間地における山菜料理データベース構築と持続的交流人口増加策”, 観光と情報(寄稿), Vol.4, No.1, pp.73-79 (2008)
2. 北日本新聞：「植物との会話」, 2008年7月16日(10面)
3. 康宝昇, 藤井正基, 柴田慎一, 竹川晃代, 大藪多可志：“炭焼き体験をコアとした中間山間地活性化事例”, 観光と情報, Vol.5, No.1, pp.91-96 (2009年5月)
4. 王艶梅, 大藪多可志, 村上嘉代子, 沢田史子：“白山スーパー林道の利用状況と活性化”, 観光と情報, Vol.7, No.1, pp.99-108 (2011年5月)
5. 平成23年8月3日 “少子高齢化時代を目した光の道の活用”, NETWORK HOKURIKU, Vol.68, SUMMER, pp.2-3, 北陸情報通信協議会発行(社団法人石川県情報システム工業会内)
6. 大藪多可志：“食の安全・安心と健康に関するセンシング論文特集号企画にあたって”, 電気学会論文誌E(巻頭言), Vol.132, No.6, pp.141-142 (平成24年6月1日)
7. 大藪多可志：“照射光による植物の空気汚染物净化能力”(解説), J. Vac. Soc. Jpn., Vol.55, No.8, pp.366-370 (2012年8月)
8. 野田和俊, 長谷川有貴, 南戸秀仁, 大藪多可志：“食の安全・安心に関する管理システムとセンシング”(解説), 日本設備管理学会誌, Vol.24, No.2, pp.61-68 (2012. 8)
9. 大藪多可志：“加賀市新交通システムの検討”(特集記事:観光情報学の実践), 観光と情報, Vol. 9, No. 1, pp.13-20 (2013年6月)

5. 社会貢献

1. 平成19年12月 科学研究費委員会第1段審査委員（基盤研究B）
((独)日本学術振興会理事長小野元之、学振助-第369号)
2. 平成20年2月 Asia Conference on International Manufacturing & Logistic Systems (IML2008), Session TA2 : Artificial Intelligence 6 にてChairperson (Feb. 25-27, 2008, Kitakyuusyu, Japan)
3. 平成20年10月 科学研究費委員会第1段審査委員（基盤研究A,B,S）
((独)日本学術振興会理事長小野元之、学振助-第250号)
4. 平成22年11月11日 北陸中日新聞発刊50周年記念シンポジウム「環日本海交流時代～アジアからの誘客を語る」、コーディネーター（於 ホテル金沢）
5. 平成22年12月13日 総務省北陸総合通信局「情報通信利活用先進地域「奥能登」を目指す調査研究会」副座長（2011年3月末まで）
6. 平成22年10月14-15日 Committee Members of Asia Pacific Industrial Engineering & Management Systems Conference (APIEMS)
7. 平成23年10月17日 総務省北陸総合通信局「ICT奥能登「絆」づくり協議会」座長（平成24年5月）
8. 平成23年12月21日 総務省北陸総合通信局「ICT奥能登「絆」づくり協議会観光部会」部会長（平成25年8月）
9. 平成24年4月1日 加賀市商工観光審議会委員（平成26年3月31日まで）
10. 平成24年6月5日 総務省「地域情報化アドバイザー」（総情地83号 平成26年3月31日まで）
11. 平成24年6月 International Advisory Committee of Sustainable Tourism 2012 (June 13-15, 2012, A Coruna, Spain)
12. 平成24年9月30日 NEDO技術委員（研究評価委員会「次世代高信頼性ガスセンサ技術開発」分科会）（601230嘱120711 平成26年3月31日まで）
13. 平成24年4月1日 「加賀市商工観光振興審議会委員」（加賀市長 寺前秀一、2年間）
14. 平成24年8月3日 経済産業省・加賀屋クールジャパン戦略推進事業委員
15. 平成24年8月7日 「クール加賀300万人構想」審議会委員（発加觀第7号）
16. 平成24年9月1日 観光クラウド研究会座長（（社）石川県情報システム工業会）
17. 平成24年9月13日 総務省「ICT地域マネージャー」、総務省政策統括官（情報通信担当）阪本泰男（総情地第118号）（平成25年3月31日迄）
18. 平成25年4月1日 NEDO技術開発推進部ピアレビュー委員（（評価者ID 20706）
19. 平成25年2月26日 「分野横断的公募事業提案書などの書面審査」、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構技術開発推進部長 久木田正次（24度新エネ技開第0215002号）（平成26年3月31日迄）
20. 平成25年7月18日 「加賀温泉郷魅力アップ支援事業審査会座長」（加賀市）（平成26年7月31日迄）
21. 平成25年7月22日 「最先端・次世代研究開発支援プログラム書面審査委員」（学振最第15号）、独立行政法人日本学術振興会研究事業部

6. 表彰

1. 平成20年2月13日 消防庁長官（荒木慶司）奨励賞「平成19年度消防防災機器の開発等及び消防防災科学論文」（九州大学・都甲潔、林健司、金沢工业大学・南戸秀仁、竹井義法、金沢星稜大学・大藪多可志、新コスモス電機・吉栄康城、テムザック・岩崎幸代、北九州市立大学・李 丞祐、北九州消防局・山本敏明）
2. 平成22年5月26日 （社）電気学会優秀技術活動賞（技術報告賞）「心とからだのセンシング—健康・医療・福祉のためのテクノロジー—」、ヒューマンサイエンスに関わるセンシングシステム調査専門委員会（代表 大藪多可志）
3. 平成23年6月1日 総務省情報通信月間表彰（総務省北陸総合通信局長 齊藤一雅）「奥能登ICT利活用による観光促進」
4. 平成25年5月30日 （社）電気学会優秀技術活動賞（技術報告賞）「食の安全・安心とセンシング」、食の安全・安と健康に関わるセンシング調査専門委員会（代表 大藪多可志）

7. 外部資金

1. 科学研究費補助金（基盤研究（B）No.18310062）（2006.4-2009.3）（1470万円）
「植物環境情報を知らせる知的インターフェースの開発とその癒し効果に関する研究」
2. 石川県大学コンソーシアム平成19年度地域課題研究ゼミナール（平成19年6月）
「加賀市東谷地区古民家利用による山菜料理体験とそのデータベース構築」
3. 平成20年度総務省SCOPE 地域ICT振興型開発に係る研究課題「ユニバーサルな知識表現による地域歴史観光ICTの研究開発」（研究代表者：北陸先端科学技術大学院大学 堀井洋，平成20-21，No.082305003）（1,750万円）
4. 石川県大学コンソーシアム平成20年度地域課題研究ゼミナール（平成20年5月）
「加賀市大土地区古民家利用による体験観光と地元産炭の付加価値導出」
5. 石川県大学コンソーシアム平成23年度地域課題研究ゼミナール（平成23年5月）
「「道の駅」を活用した効果的な観光プロモーションやイベント開催についての提案」
6. 石川県大学コンソーシアム平成24年度地域課題研究ゼミナール（平成24年6月）
「北陸新幹線加賀温泉駅整備及び統合新病院の開業を見据えた加賀市地域交通体系の再構築」
7. 総務省平成24年度補正予算「ななおICT街づくり推進事業」（座長）（主幹 七尾市商工会議所）（平成25年6月）